



「石岡市看板建築等調査」 結果報告（概要版）



筑波大学大学院社会工学専攻
石岡看板建築WS



◎看板建築とは

関東大震災後に数多く建設された、洋風の外観を持つ店舗併用住宅

特徴：①建物の正面部分の銅板やモルタル仕上げ

②ファサードに見られる洋風の装飾

その特徴から建築家・建築史家の藤森照信によって「看板建築」と名付けられる

◎調査の目的

石岡市の看板建築の実態調査
他地域における保全の取組み



今後の石岡市における保全の方向性や
制度的枠組みを考えていく

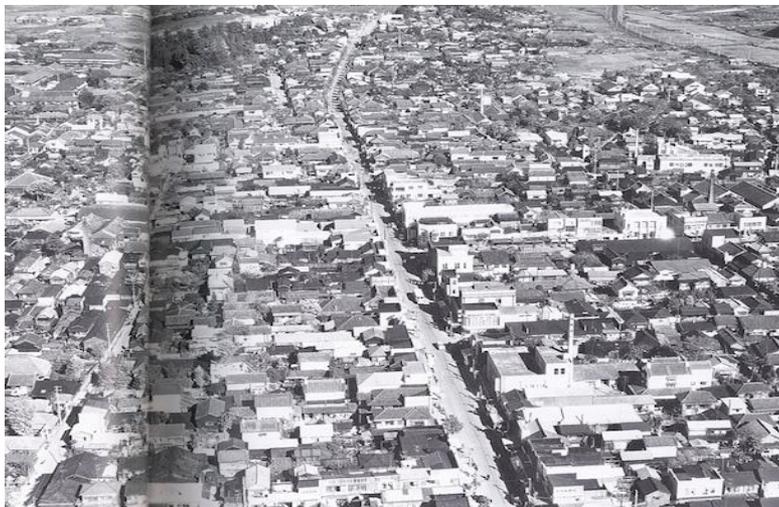


現在の石岡市に残る看板建築

古写真から見る石岡の歴史



「いしおか 昭和の肖像」



昭和30年の石岡中心街



昭和初期の近清書店



昭和初期の中町商店街通り



昭和時代年賀状中の街並み

連続立面図



東側 :



4間程度の間口
8~10m程度の高さ



西側 :



0 3 4 6 7 9 10M

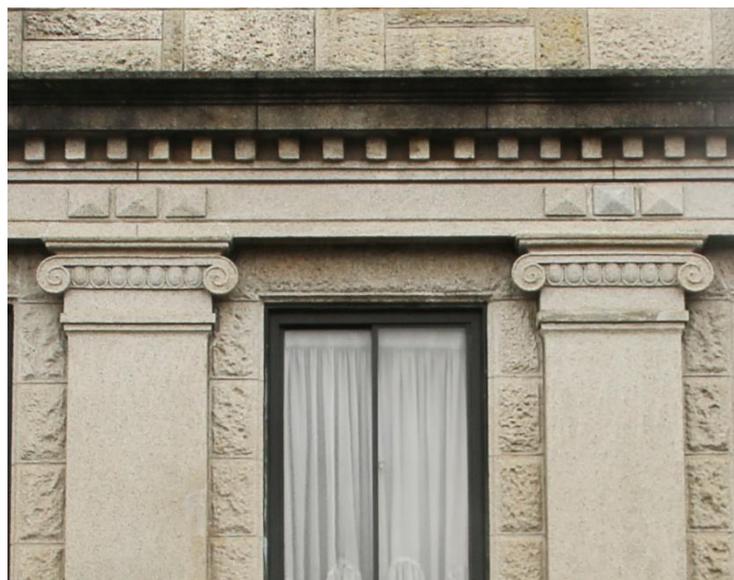


モルタル仕上げと土屋辰之助の功績

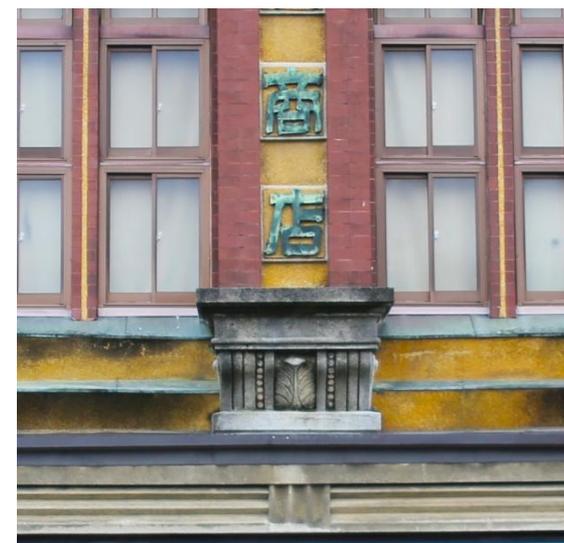


土屋辰之助（中央）
石岡市で活躍した左官職人
写真：石岡市企画展パンフレット

すがや化粧品店
「人造石洗い出し仕上げ」



モルタル仕上げと土屋辰之助の功績



土屋辰之助の技術と石岡の商店主により石岡のオリジナルな景観が生み出された



看板建築の保全と活用に向けて必要となる方向性

- ①看板建築の修理への補助
- ②看板建築風への改築・新築の推進
- ③看板建築の空き家・空き店舗の活用支援



財源の確保

統一したコンセプト



■ 茨城・石岡の葉タバコ

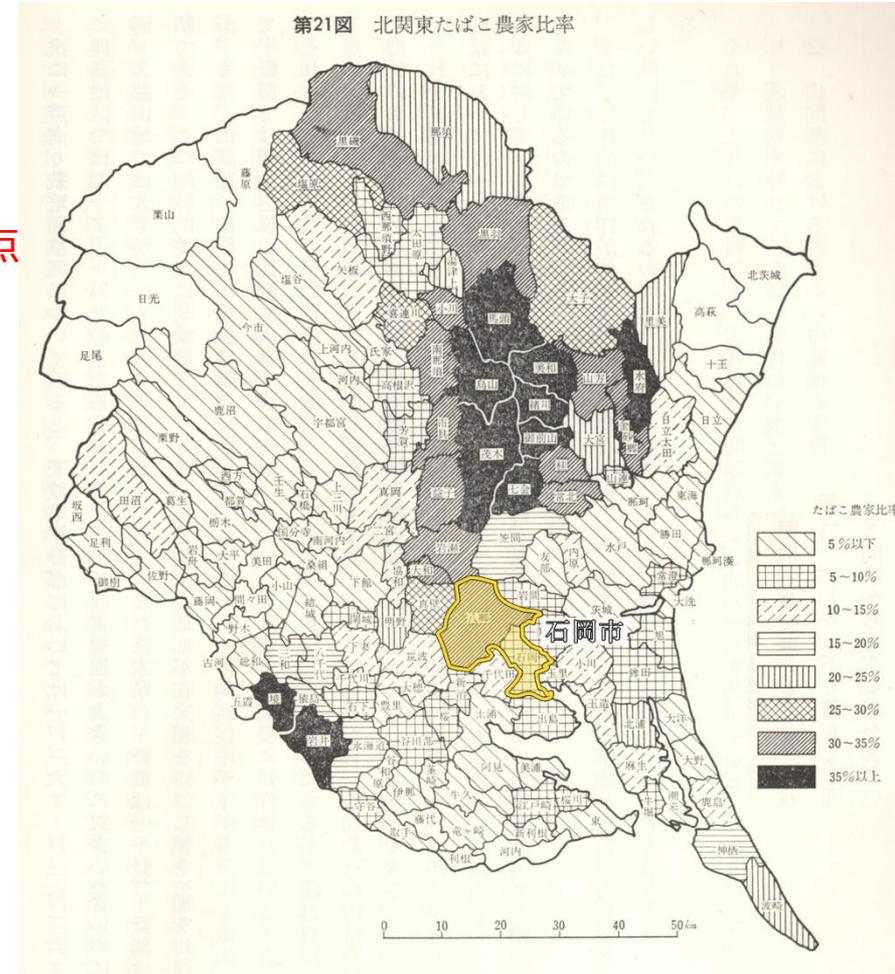
かつて国分(鹿児島)、秦野(神奈川)と並ぶ、

天下の三大たばこ産地の一つ

昭和時代の茨城県におけるたばこ耕作の**二大拠点**



喫煙浮世絵



北関東のたばこ農業

昭和初期の商品の再評価：地酒



■石岡の酒

筑波山系の豊富な水に恵まれ“**関東の灘**”と称される

江戸時代からの酒どころ

明治治中期から後期には**県内最大の酒造地**として栄えた



「石岡の地酒」で乾杯を推進する条例(平成26年制定)

⇒地酒の消費拡大＋石岡の活力アップを行政・住民協働で目指す





地域の伝統産業 + 空家・空き店舗を活用

様々なたばこも楽しめる名古屋のシガーバー



お酒を提供するスターバックス、
ルックリン、ウィリアムズバーグ店

吸える景観



据える景観



商業

回遊性の向上

地元商業と観光のバランス

空き店舗からの整備

他地域との連携

明確なコンセプト

店舗外観の規制

景観

看板建築への改修

重層的な支援

保全意識の醸成